

コースNo.36 古代ロマンを身体中で感じる 『巨石パーク』巡り

コース作成 川崎

- 起点 道の駅大和 そよかぜ館(短縮コース:巨石群登山道入口前駐車場スタート)
- 距離 5.6キロ(短縮コースなら2.9キロ)
- 見所 一つ一つにユニークな名前の付いた神秘的な巨石群を巡り古代ロマン満喫
- 注意点
- ・ウォーキング番外編(低山登山の覚悟が必要。標高差355m)
 - ・短縮コースなら管理棟で駐車料金300円(軽、普通車の場合)を支払って通行
 - ・17:00に巨石パーク出入り口のチェーン閉鎖⇒計画は時間に余裕を持って
 - ・トイレは、道の駅大和そよかぜ館、管理棟及び巨石群登山道入口前駐車場
 - ・道の駅大和そよかぜ館に駐車した場合は、帰りに道の駅でお買物を
- コース概要
- ①巨石パークの看板(「道の駅大和そよかぜ館」から国道263号を500m南下)
 - ②管理棟
 - ③巨石群登山道入口前駐車場 → 登山道入口すぐ案内板を右(神頭石)※急坂
 - ④神頭石 『形が神様の頭に似ていることから名付けられ、永く眺めていると御先祖様の顔が見えてくる不思議な石といわれている。』
 - ⑤道祖神石 『本来、道往人たちを守る神様といわれ、ここではここに来た人達の交通安全の守護神』
 - ⑥御舟石 『神代の昔、大海原を石神様が当地への航海に使用された船といわれている。』
 - ⑦兜石 『武将が戦いの時かぶったものに似ていることから名付けられ、武将の肉体は滅びてもカブトと大和魂を今も残している。』 ⇒ 「龍の石」へ
 - ⑧造化大明神 『天地万物をお作りになった神様といわれ、世田姫を祀られており、與止姫神社の上宮として明治の中頃まで毎年11月20日祭典を執行されてきた。男神石女神石からなり一見屋根の形をなし、その下は洞窟にして人の通行が自由である。』 ⇒ 「イナリ石」へ
 - ⑨誕生石 『この石から、すべての動物が生まれ、子孫繁栄、夫婦和合、腹ごみの神様といわれている。』
 - ⑩屏風石 『小さな石の後ろにそびえ立ち、まるで屏風のような形をしていることから名づけられている。』
 - ⑪烏帽子石 『平安時代の貴族がかぶった帽子に似ていることから名づけられた石で烏帽子の形をなす。高さ二十五尺(約7.57m)下部は、洞窟』
 - ⑫御座石 『神様がこの山頂から佐賀平野を眺められた時、お座りになったことから名づけられた石でゴザに似ている事から呼ばれている。長さ三十三尺(約10m)、幅十一尺(約3.33m)の長方形をなしている。上部は、平面で板敷きのようになっていて何十人でも座ることができ、悟りを開くための場所であるともいわれている。』 ⇒ 「雄神石」へ
 - ⑬天の岩門 『本来「天の」は、朝廷に関係のある事柄で、ここでは高千穂の天岩門に似て、神いることから名付けられたといわれている。』
 - ⑭神籠石 『本来神籠石は、山頂の広い区域を囲んだ石垣の意味であるが、ここでは神を守る石のことといわれている。』
 - ⑮蛙石 『形がカエルに似ているところから名付けられ、佐賀弁でコウジン Dockと愛唱されている。頭上には弘法大使を歓請したが今から80年前までは誰しも大師を祀ったことを知る人も無かったところ村内でも有名な大師信者の坂口又七と云う人が、三夜続けて大師の夢の御告げにより発見したそうで、それから参詣者が常に絶えないといわれている。』
 - ⑯石神の滝
- ⇒ ③巨石群登山道入口前駐車場
- ⇒ ②管理棟
- ⇒ ①巨石パークの看板
- ⇒ 国道263号を500m北上して「道の駅大和そよかぜ館」へ=ゴール

